HTT Tokyo

東京都

# 東京エコビルダーズアワード 2025

# 「燃費のいい家」本格普及へ

**東京都は2025年4月から全国初の太陽光パネルの設置などを義務付ける「建築物環境報告書制度」を開始した。制度の実効性を高めるため、23年度から環境性能の高い建築物の普及に意欲的な事業者を表彰する「東京エコビルダーズアワード」を実施している。25年度は3回目となり、11月に大手ハウスメーカーから地域の工務店まで、一段とレベルの高い取り組みが表彰された。12月には都内で受賞イベントを開催。パネル展示やアワード審査委員によるパネルディスカッションなどを通じて、「燃費のいい家」の優良事例を広く発信した。**

## 知事挨拶

東京都知事
**小池 百合子**

東京都は「ゼロエミッション東京」の実現に向けて、太陽光パネルの設置や、断熱・省エネ性能の確保などを義務付ける「建築物環境報告書制度」を2025年4月に開始いたしました。

ハウスメーカーなどの事業者が、ただ基準を満たすだけでなく、創意工夫を凝らして、より高いレベルで取り組みを進めていただくことが制度の実効性を高めることにつながります。

そこで、制度で定める基準を大幅に上回るなど、意欲的に脱炭素化を目指す事業者を表彰する「東京エコビルダーズアワード」を実施してまいりました。回を重ねるごとに応募が増え、3回目となる今回は特に地域工務店から多くの応募をいただきました。

太陽光パネルと高い断熱・省エネ性能を備えた「燃費のいい家」は、経済的かつ停電時でも電気が使えるなど安全・安心につながります。都は、事業者や住宅業界の先進的な取り組みを広く発信し、「燃費のいい家」のさらなる普及を図ってまいります。

事業者の皆様には、太陽光パネルの設置や高断熱化はもとより、住宅の長寿命化や森林の育成保全など、一層の取り組みをお願いしたいと考えております。

持続可能な社会を創るため、共に力を合わせてまいりましょう。

リーディングカンパニー賞受賞企業の代表者と小池知事
（2025年11月27日、東京都庁での表彰式）

## 表彰種別

**リーディングカンパニー賞** 総合部門 ／ 分譲・賃貸部門 ／ 地域ビルダー部門
建築物環境報告書制度で定める基準達成に加え建物の脱炭素化に向けた意欲的な取り組みを実施

**ハイスタンダード+（プラス）賞** 断熱・省エネ性能部門 ／ 再エネ設備設置量部門
建築物環境報告書制度で定める基準を大幅に上回る「誘導基準」を達成

**ハイスタンダード賞** 断熱・省エネ性能部門 ／ 再エネ設備設置量部門
建築物環境報告書制度で定める基準を達成

## 受賞企業一覧

### リーディングカンパニー賞

**総合部門**
- 旭化成ホームズ株式会社（千代田区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社一条工務店（江東区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社スウェーデンハウス（世田谷区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社真柄工務店（西東京市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 三井不動産レジデンシャル株式会社（中央区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- ヤマト住建株式会社（兵庫県神戸市）［断熱・省エネ］［再エネ］

**分譲・賃貸部門**
- 小田急不動産株式会社（渋谷区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社参創ハウテック（文京区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- セイズ株式会社（葛飾区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- パナソニックホームズ株式会社（大阪府豊中市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- ミサワホーム株式会社（新宿区）［断熱・省エネ］［再エネ］

**地域ビルダー部門**
- 株式会社アイケーホーム（世田谷区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社創建舎（大田区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社大黒屋（東村山市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社中島工務店（青梅市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社八幡（青梅市）［断熱・省エネ］［再エネ］

### ハイスタンダード+（プラス）賞

**断熱・省エネ性能部門**
- 株式会社伊庭工務店（目黒区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 大久保工務店株式会社（八王子市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 近藤建設株式会社（埼玉県ふじみ野市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社三和住建（町田市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社創建（町田市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- ネクストイノベーション株式会社（新宿区）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社ヨコタ総建（あきる野市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 有限会社ヨダ工務店（埼玉県志木市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社アイム・ユニバース（杉並区）［断熱・省エネ］
- 株式会社小野寺工務店（調布市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 株式会社小嶋工務店（小金井市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 住宅情報館株式会社（神奈川県相模原市）［断熱・省エネ］
- 株式会社中央住宅（埼玉県越谷市）［断熱・省エネ］［再エネ］
- 東邦ハウジング株式会社（大田区）［断熱・省エネ］
- ハリマハウス株式会社（八王子市）［断熱・省エネ］
- 株式会社福安工務店（八王子市）［断熱・省エネ］
- 明友建設株式会社（練馬区）［断熱・省エネ］［再エネ］

**再エネ設備設置量部門**
- 積水ハウス株式会社（大阪市北区）［再エネ］
- 株式会社美都住販（神奈川県相模原市）［断熱・省エネ］［再エネ］

### ハイスタンダード賞

**断熱・省エネ性能部門**
- 株式会社フェイスネットワーク（渋谷区）［断熱・省エネ］
- 株式会社メルディア（新宿区）［断熱・省エネ］

注釈：ハイスタンダード+（プラス）賞 断熱・省エネ部門とハイスタンダード賞 断熱・省エネ部門を受賞している場合は、プラス賞の星を表示 ［断熱・省エネ］

## パネルディスカッション

リクルート
SUUMO編集長／
SUUMOリサーチセンター長
**池本 洋一氏**

慶應義塾大学名誉教授／
一般財団法人 住宅・建築
SDGs推進センター 理事長
**伊香賀 俊治氏**

寺尾三上建築事務所
代表取締役／
建築家
**寺尾 信子氏**

### 受賞企業が生みだす 健康で幸せな住まい

――リーディングカンパニー賞受賞企業の取り組みをテーマ別に見ていく。まず「高い住宅性能の実現」について。

寺尾　真柄工務店は東京ゼロエミ住宅および長期優良住宅の基準を標準としており、断熱性能を表すUA値（外皮平均熱貫流率）などの優秀さが際立っていた。住宅性能にデザイン力が伴っており、動画での情報発信も秀逸だ。

伊香賀　ヤマト住建は住宅全体の空気循環経路に電子集塵式の空気清浄機を搭載し、空気の質までコントロールしている。床下に暖かい空気を送り込み、足元まで暖かい室内環境を実現している。

池本　私は葛飾区を中心に3階建て建売住宅を提供しているセイズに注目した。限られた敷地や都市部特有の屋根規制などがありながら、設計の工夫により全物件で太陽光パネルを標準搭載している。オプションで蓄電池や、電気自動車（EV）から住宅に給電するV2Hなどとの連携も可能だ。顧客に有用性を説明して理解と納得を得られるように努めている姿勢も素晴らしい。

――「情報発信」という切り口で注目した企業はどこか。

伊香賀　八幡は建築途中の構造見学と完成時の完成見学会を年15～20回、定期的に開催している。体験しないと分からない部分を積極的に公開している点を高く評価した。施工事例や助成金情報などを自社のウェブメディアで発信しているほか、高品質な映像による動画配信も実施し、注目を集めている。

池本　中島工務店は施主が住んだ感想や喜びを語る完成見学会を開催している。施主自慢の自宅なので話に説得力があり、見学者からの質問にも喜んで答えてくれるという。チラシに自社の受賞歴や住宅性能値を載せたり、補助金の交付を受けた物件の補助金額を記載したりするなど、可視化ツールをうまく活用している。

――「人材育成、地域貢献」の観点ではどうか。

寺尾　大黒屋は在来工法の文化を守るため、新卒採用を強化して若い社員大工を増やしている。工務店や大工への関心を高めるため、近隣中学校の職業体験への協力や大工が教える木工教室なども実施している。「木（気）づつみ」を合言葉にした丁寧な仕事や、築50年の空き家を高性能リノベーションしたモデルハウスなども印象的だった。

池本　先ほど紹介したセイズは自治体との連携にも積極的だ。24年に発足した「かつエネ推進会」では葛飾区役所と協力。「省エネで健康住宅」といった分かりやすいリーフレットの作成や区のイベントへの参加などを通じて、断熱性や省エネ性能の大切さを地域に伝える活動を展開している。身近な市や区との連携が広がることを期待したい。

――「建物のライフサイクルを通じた脱炭素の取り組み」も進んでいる。

伊香賀　これまでは建物使用中の温暖化ガス（GHG）排出削減が中心だった。近年はどのような建材を使って長期使用に耐え得る設計にするかなど、建物完成前からの取り組みが注目されている。そうした中、三井不動産レジデンシャルは建設時のGHG排出量算出に加え、施工会社や資材メーカーに対して二酸化炭素（$CO_2$）排出削減計画書の提出をルール化した。これにより着工時までに省資源・省$CO_2$につながる手法を検討でき、資源の適正利用も実現できる。

寺尾　創建舎は構造材から内装材、家具に至るまで一貫して国産材を積極的に採用している。地域の製材所・材木店と連携し、地域木材の安定調達と流通の仕組みを構築しようと職人が奮闘している。自社で社員大工を採用し、高気密・高断熱、高耐震住宅の専門技術習得に力を入れている。大工一人ひとりのスキルを可視化し、人事評価と連動させているのも素晴らしい。

――今後への期待は。

寺尾　地域工務店の頑張りが見えるようになった。建物の脱炭素化は建設段階を含む総合評価の時代に入る。これからの挑戦に注目したい。

池本　建築費高騰の中で省エネ性能を高めるには間取りの工夫がポイントだ。賃貸分野の好事例が増えてほしい。

伊香賀　既存住宅も快適で脱炭素に貢献できるものにリノベーションしていく必要がある。アワードが健康で幸せな住まいづくりにつながることを願っている。

建築物環境報告書制度の詳細は、東京都環境局のホームページをご覧ください。▶

制度に関するご質問・ご相談は、東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）の総合相談窓口（03-5990-5236）にお問い合わせください。

広告